

「解答例」

選抜区分	2021年度（選抜区分：一般前期） 法学部（科目名：小論文）
<p>問題1 要約（標準的な解答例）</p> <p>日本が人口減少社会に突入する中で、特に農山村では地域住民の誇りの空洞化が進んでいる。そこに、都市の若い世代を中心に田園回帰という、旧来のU・Iターンとは異なった公共的・利他的な生き方を地方に求める新しい潮流が生じている。しかし、農山村などの地方はこの潮流を生かし切れていない。なぜなら、従来は移住・定住と交流・観光のみが地方の戦略だったからである。移住・定住はコストが大きく、地方の人々も移住者に定住の覚悟を求めるので、都市住民にとってハードルが高くなる。交流・観光は短期滞在であり、移住より都市住民にとってのハードルは低いが、農山村側の交流疲れを起こしやすく、また観光は、ソーシャルな都市の若い世代のニーズからずれている。そこで、第三の道として、定住とも交流・観光とも異なり、どの地方でも増やすことができ、地方の力になる人々である関係人口という新たな戦略が重要となっている。</p> <p>問題2（出題の意図） 別紙</p>	

--

「解答例」よりも「出題の意図」の方が望ましい理由書（※非公開）

選抜区分	20**年度（選抜区分：****） **学部・学群 **学科・学類（科目名：***）
「解答例」よりも「出題の意図」の方が望ましい理由	

--	--